

堺市役所展望台ロビー

堺市役所の 21 階にある展望ロビーからは、堺、大阪の地平線、地域にある多くの古墳群を 360 度見渡せる。この見晴らしの良い場所からは、古代と近代の人々がこの広範な土地の景観を形成してきた様子を見ることができる。

町に巨大な古墳が点在することで、大阪府の非常に近代的な地区に緑が部分的に残っている。この古墳は 4 世紀から 5 世紀の王や有力者たちのために作られた。

2019 年に大阪の 49 基の古墳が百舌鳥・古市古墳群として世界遺産に認定された。

晴れた日には、神戸と淡路島をつなぐ明石海峡大橋が大阪湾の西側に見える。これは世界最長のつり橋で、中央支間は 1,991 メートルである。目に入る大阪湾の海岸線も、人間が作り上げたものだ。古墳が造られた時には、土地の大半は海底にあった。

展望台ロビーには窓から見えるものについて日本語と英語の説明が掲示されている。ほぼ毎日、数名のボランティアガイドが眼下に広がる風景について説明してくれる。